

# セミナー「グリーン・ニューディール」は実現するか？

## ドイツの環境経済学的視点から見る日本の気候政策

世界同時不況、米国オバマ政権の誕生といった、国際情勢の大きな変化の中でポスト京都の国際枠組み交渉が進められています。EUおよび欧州各国は、科学の知見に基づき、先進国としての責任を示すべく率先した中長期の削減目標を掲げ、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。域内排出量取引(EU-ETS)は、その重要な手段として位置づけられ、炭素市場を確立しながらその制度は進化を続けています。



こうした情勢の中、我が国でも、「グリーン・ニューディール」という言葉とともに、温暖化対策と経済の再生を両立させようとのムードは高まっています。そして、キャップを設けない国内排出量取引制度や、太陽光発電の余剰電力の固定価格買取制度が始まることが決まっていますが、これらの政策は、温室効果ガスを削減するためのインセンティブとして期待できるでしょうか？また、今後、日本が低炭素社会にシフトしていくために必要な経済のしくみとは、どのようなものなのでしょうか？

当セミナーでは、ドイツの環境税制改革で大きな役割を果たした BUND(ドイツ環境自然保護連盟:FoE ドイツ)の経済・財政政策グループ代表であり、環境経済学者である講師を迎え、欧州の気候政策の最新動向を伺うとともに、日本の気候政策について議論します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

**日時** 2009年3月27日(金) 18:30~20:30

- プログラム**
- 1)「日本の気候政策における経済的手法の導入をめぐる状況」  
諸富 徹 氏(京都大学大学院経済学研究科准教授)
  - 2)「欧州・ドイツの気候変動政策最新動向から見る日本の政策」  
スヴェン・ルドルフ 氏(カッセル大学経済学部准教授、  
BUND 経済・財政グループ代表)
  - 3)質疑・ディスカッション

**会場** ウイングス京都(京都市男女共同参画センター)

セミナー室 B TEL:075-212-7490

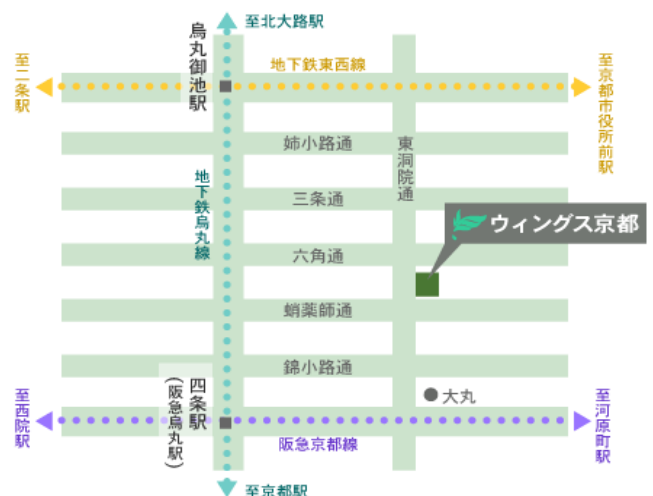
京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262

**参加費** 一般 1000 円 FoE Japan サポーター 500 円

**申込み** 3月25日(水)までに web 申し込みフォームよりお申し込みください。

[http://www.foejapan.org/event/event\\_form.html](http://www.foejapan.org/event/event_form.html)

もしくは以下までご連絡ください。



国際環境 NGO FoE Japan

〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-8 みらい館大明 1F

Tel: 03-6907-7217 Fax: 03-6907-7219

<http://www.foejapan.org>

気候変動政策担当

E-mail: [softenergy@foejapan.org](mailto:softenergy@foejapan.org)